

科 目 名		学年	単 位	授業時間	科目区分	授業形態	学修単位
世界史: World history		2C	2	90分×30回	履修	講義・通年	—
教 員 名		江波昌子: ENAMI Masako					
授業概要	世界各地の出来事や情報がリアルタイムで伝えられ、それらが我々の一人ひとりの現在と未来を左右するといっても過言ではない現代において、自国中心に物事をとらえるのではなく、他国に対して理解を示し、寛容の精神を持つことが必要になってくる。これからの時代を担っていく技術者として、豊かな人間性を育み、グローバルな視点を養う基礎として、さまざまな国の歴史や文化を学び、幅広い視野で物事を判断できるようになることを目指す。限られた時間数の中で、この授業では、近代文明において先進国であった西洋の歴史を中心に、その他の地域との関わりにも配慮しながら時代の流れを理解していく。						
到達目標				評価方法			
1 西洋における歴史の流れと、その中で培われてきた文化を理解し、説明できる。 2 各時代において、他の地域の国々との関わりを説明できること。				4回の定期試験80%と、自学自習レポート20%で評価する。			
学習・教育目標		(F)		JABEE基準1(1)			
授 業 計 画	回	項 目	内 容	回	項 目	内 容	
	第1	オリエンテーション	シラバスについての説明・古代ギリシア 1	第16	主権国家体制の展開	重商主義と啓蒙専制主義 1	
	第2	地中海世界	古代ギリシア 2	第17	主権国家体制の展開	重商主義と啓蒙専制主義 2	
	第3	地中海世界	古代ギリシア 3	第18	主権国家体制の展開	重商主義と啓蒙専制主義 3	
	第4	地中海世界	古代ローマ 1	第19	主権国家体制の展開	ヨーロッパ諸国の海外進出 1	
	第5	地中海世界	古代ローマ 2	第20	主権国家体制の展開	ヨーロッパ諸国の海外進出 2	
	第6	地中海世界	古代ローマ 3	第21	主権国家体制の展開	17～18世紀のヨーロッパ文化	
	第7	中間まとめ	中間まとめとして試験を行う	第22	中間まとめ	中間まとめとして試験を行う	
	第8	近代ヨーロッパの成立	ヨーロッパ世界の拡大 1	第23	近代社会の成長	産業革命	
	第9	近代ヨーロッパの成立	ヨーロッパ世界の拡大 2	第24	近代社会の成長	アメリカ独立革命	
	第10	近代ヨーロッパの成立	ルネサンス	第25	近代社会の成長	フランス革命	
	第11	近代ヨーロッパの成立	宗教改革 1	第26	近代国民国家の発展	ウィーン体制	
	第12	近代ヨーロッパの成立	宗教改革 2	第27	近代国民国家の発展	ヨーロッパの再編	
	第13	近代ヨーロッパの成立	主権国家体制の形成 1	第28	近代国民国家の発展	アメリカ合衆国の発展	
	第14	近代ヨーロッパの成立	主権国家体制の形成 2	第29	近代国民国家の発展	19世紀欧米の文化	
第15	まとめ	全体の学習事項のまとめをする	第30	まとめ	全体の学習事項のまとめをする		
自学自習の内容		レポート課題を課す。					
関連科目							
教科書		『改定版世界史A』(第一学習社)					
参考書		『プロムナード世界史』(浜島書店)					
授業評価・理解度		最終回に授業評価アンケートを行う。					
副担当教員		岩元修一					
備考		テキスト・プロムナードは毎回必ず持参すること(不携帯は減点の対象になります)。					